土改横越下分区

下郷発祥の地に基盤整備記念碑を建立

土地改良横越下分区（分区長坂井正四）では、横越下地区の土地基盤整備事業の竣工を記念して、同地区発祥の地ともいわれている宮原に記念碑を建立、六月二十八日佐野亀田郷土改理事長、浅見村長、地元関係者ら多数が出席して除幕式を行いました。

この記念碑はおよそ十トンもある台石に、黒御影石（たて二一〇㌢、よこ一一〇㌢、厚さ三三㌢）に佐野理事長揮毫の「宮原土地改良記念碑」を刻み、のせたもの。分区長経験の長老、阿部清喜智さん、羽田義次さんの手によって除幕されました。

横越下地区の土地基盤整備事業は、水田利用再編対策に対応するため、昭和五十七年と五十八年に小規模対策特別事業で再区画整理や用排水路整備を行ったほか、区画整理事業（58年）で交換分合、耕地の集団化、農村総合整備モデル事業で農道の舗装などを行ってきました。

記念碑が建てられたところは、薬師様の敷地内で、組合員の寄贈でたくさんの樹木も植えられ、また石工の寄贈による大きな石燈籠とベンチ、それに昭和五十七年に地元俳句同好会、阿賀野吟社の句碑も建てられており、緑地帯となっている。

地元の人たちは、下郷発祥の地として新しい名勝となればと願っています。

第八回「水の週間」

節水にご協力を

8月1日は「水の日」です。一人ひとりの小さな心がけで節水にご協力ください。

夏です。どうしても水をたくさん使う季節です。でも夏場は渇水の時期、水ききんに見舞われると、水源地のダム等は水が少くなり、供給不能という深刻な問題が発生します。

私達一人ひとりが日頃から水のむだ使いをなくすことがなによりも大切なことです。みなさんのご協力をお願いいたします。

新装の阿賀浄水場テニスコート
横越中生徒部活で借用

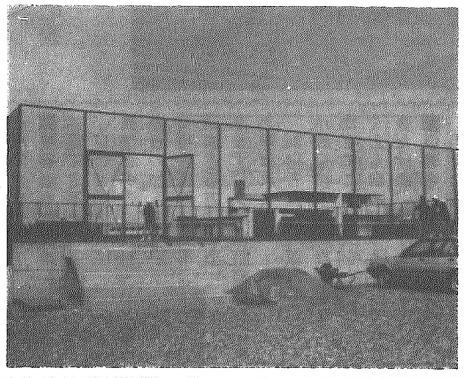
阿賀野川浄水場に、このほどテニスコートが整備され、施設難で困っている横越中学校テニス部の生徒にはうれしいニュース、炎天下のもと、新装のコートを借り猛練習をしています。

このテニスコートは、新潟市水道局が職員の厚生施設として整備したもので面積一、九四二平方㍍、このうちコート部分が一、四八二平方㍍で二面、周囲を高いフェンスで張りめぐらし、駐車場、便所用具室、水呑場などもあり、本格的なもの。

村教育委員会は、この施設を村民も利用できるよう新潟市水道局に要請、浄水場施設の管理上問題もあり、横越中生徒の部活動のみの利用となりました。

横越中テニス部は、七月二十二日から新装のコートで猛練習。指導にあたっている先生は「素晴しいコートを利用することができてうれしい、日よけや雨が降ってきたら避難できる施設があったら」と話していました。

村のテニスコートは、これまで旧横越小学校跡地に二面整備し、横越中生徒の部活動を中心に利用されてきましたが、五月その跡地を農協に売却したところから、新庁舎建設用地の隣りに簡易的なコートを一面整備し、中学生の部活動に対応してきました。



お知らせ

税金は納期まで忘れずに納めましょう

八月の納税は
村県民税（第2期）
国民健康保険税（第3期）
国民年金保険料（第3期）
税金を納めて築く明るい社会

8月保健衛生業務予定

日	曜	時間	内容	対象者	会場	対象
8	水	午前9.30～午後3.00	母親学級	妊娠届出のあった者	横越村公民館	全村
22	水	午後1.30～	1才6カ月児検診	57年12月、58年1月12月生れ	〃	〃
23	木	午後1.30～	乳児検診	58年8月、59年1月5月生れ	〃	〃

おびころよお

（6月届）

命を守るのがそんなに面倒くさいのですか

シートベルト着用者　たったの30%弱

シートベルトは、車を運転するときの〝命綱〟――しかし、着用率はまだ低く、ドライバー十人中三人にも満たない、という嘆かわしい実情です。そして「自動車乗車中の死者の九八%が、シートベルトをしていなかった」という見逃せない結果も報告されています。

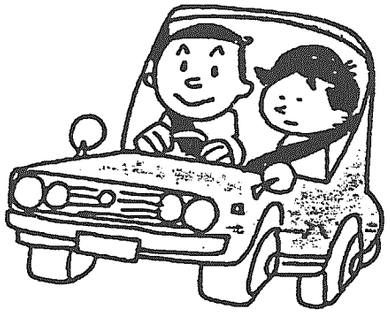
三秒のゆとりが命を救う

「シートベルトなんて面倒くさい」「きゅうくつだ」「安全運転をしているから大丈夫だ」というのが、敬遠される主な理由ですが、シートベルトの着脱は、ほとんどワンタッチ式。ほんの二、三秒もあればすむことなのです。

八月は、学校等の夏休み期間であり、旧盆の帰省、海や山への行楽等、家族連れによる長距離ドライブの機会が多く、例年全国的に交通事故が増加する傾向にあるため、八月中（一カ月間）「シートベルト着用推進運動」が全国いっせいに行われます。

シートベルトをつけると「肩がこる」とか「ハンドル、ブレーキ操作がよくできない」とか言いますが、これは理くつです。

シートベルトをつけると確かに心がひきしまり、自然に安全運転をするようになります。



シートベルト着用の効果

1.事故予防

①運転姿勢を正しく保つ…ハンドル操作が確実になる。視界が拡大する。

②運転疲労を軽減する…よけいな動作を防止し、運転に注意を集中できる。デコボコ道でもカーブでも、しっかり身体を固定する。

③動体視力を向上させる…腰が安定するため、車体の動きに身体が良く調和する。

④安全意識を向上させる…車に乗って、シートベルトを着けることにより、気持の切り替えをうながす。また気持にゆとりをもたせる。

2.事故時の乗員保護効果

①正面衝突や追突などの衝突事故において、乗員が頭や胸をフロントガラスや車内で打つことを防止する。

②車外放出を防止する。

③車の中でころがったりしない。

きょうから実践　シートベルトの着用を

このように、交通事故の際にあなたの何よりも有効な〝命綱〟となってくれるシートベルトの着用は、いまや運転操作のひとつなのだということを、ぜひ肝に銘じてください。

「シートベルトなしでクルマに乗るな！」きょうから徹底したいものです。

訂正

七月広報二頁、行革推進委条例制定の文中「賛成多数」を「満場一致」に訂正

□歳時期□　不快指数

暑さというのは、ほとんど気温の高さで決まりますが、実際に体で感じる暑さは、湿度や風の影響で必ずしも気温どおりではありません。これを体感温度といいます。この体感温度の考え方をとり入れたのが不快指数で、気温と湿度によって生活上不快をおぼえる度合いを数値で表したものです。

不快指数は、天気予報とは違って、定期的に発表されるわけではありませんが、気象庁はじめ各気象台ではデータを持っていて、問い合わせれば教えてくれます。

どのくらいの指数で不快を感じるかというと、七〇を超えるとやや不快を感じはじめ七五では半数が不快、八〇を超すとほぼ全員が不快と感じるとされています。

ちなみに、新潟の夏は高温多湿で、ほとんど毎日が八〇を超し、だれもが過ごしにくいと感じます。

ただし、最近はエアコンの普及などの影響もあって、快・不快の感じ方もかなり変ってきています。

おめでた

（6月届）

新郎	地区	新生児	親名	地区
五十嵐良吉「田中」美江	川根谷内新潟市	平沢　達也	政利	川根谷内
梅田芳信「石山」文子	新発田市木津中	田村明衣子	唯次	小杉下
松原貢一「三井」玲子	横越下木津下	三浦　千晶	孝司	横越中
細山由高「石川」真由美	二本木中笹神村	茅原　優	誠一	横越下
長谷部良樹「長谷川」節子	川根谷内小杉下			
佐藤由久「熊倉」久枝	木津下千葉県			
原宣寛「大平」宣子	二本木中堀之内町			
原威「南場」幸子	二本木下亀田町			

おみやく

（6月届）

故人	年令	地区
古沢トメ	89	木津中
中野元三	62	横越上
熊倉ハナ	73	横越中
三沢秀雄	61	二本木下
物井信一郎	73	横越中